

「評価結果の概要」

センターが把握している圏域の特徴

圏域人口：56,039人 高齢者人口：13,257人（克明2,889人、桜塚2,361人、熊野田2,659人、南桜塚2,909人、泉丘2,439人）
高齢化率：23.66%（克明：27.25%、桜塚：23.92%、熊野田：23.18%、南桜塚：22.81%、泉丘：21.50%）

中部圏域の特性について：豊中市の中心に位置し、阪急豊中駅、岡町駅、曾根駅各駅前の商業地域、戦前から高度成長期にかけて開発された住宅街の克明、桜塚、南桜塚各校区、農村地域だった熊野田校区、マンション群や団地を持つ泉丘校区の5校区から成る。校区間による高齢化率や自治会加入率（71%～35%）の差と同じく、校区により大きくニーズも異なるため、各校区の実態に合わせた取り組みが必要である。

センターの取組方針や特徴

【センターの運営方針】

地域包括ケアシステム構築に向け、「地域に住む、支援が必要な高齢者を一人も孤立させない」という心構えを持って取り組んでいる。

「高齢者になっても安心して暮らせるまちづくり」を最終的な目標とし、地域支援を推進していく。

【特に力を入れて活動している点】

「高齢者になっても安心して暮らせるまちづくり」を実現するために、絶えず地域に出向いて、的確に状況を把握し、各校区の持つ特性や強みを活かすこと。

【活動の中での課題やその解決策】

問題を抱えていても自ら声を上げない、誰からも気づかれない高齢者が地域に存在している。孤立した人を、いかにして「きめの細かいセーフティネットを構築」し、逃さないようにするかが課題となっている。

「きめ細かいセーフティネットの構築」には、人や組織や機関とのつながりを増やし、その1本1本の線を太くする必要があり、セーフティネットの網の目からこぼれ落ちない体制を作らねばならない。より細かいネットワークを作りのために絶えず地域に出向き、住民との交流により点を線に変えることが解決策に通じると考える。

総評

介護支援専門員の勉強会や成年後見に関する相談会、認知症高齢者の支援など、様々な機関とのネットワーク構築に取り組んでいます。また、きめ細やかな支援を各業務で行っていますが、その記録から共有まで、一連の流れが確認できるよう、全体的に記録の整備が求められます。

好事例

事業計画について、振り返りで全体の進捗状況の確認をし、目標達成に向けて見直しを行っています。
また、市民向けの講座では、2か月に1回、司法書士による高齢者お悩み相談会を開催し、好評を得ています。圏域内の社会資源についてまとめた、「介護予防おでかけマップ」を作成し、市民等への情報提供を行う際に、活用しています。